

平成29年度

取り組みの実績・評価

鶴見区役所

地域保健福祉部会

- 所管する経営課題

経営課題2 地域コミュニティの活性化

経営課題5 健康で安心して暮らせる
まちづくり

経営課題2

地域コミュニティの活性化



2-1 地域全体で支え合う地域コミュニティづくり

地域活動の活性化と自律的な地域運営の支援

計画

- 各地域に担当職員を複数名配置し、自律した地域運営に向けた支援を中間支援組織と連携し行う。
- 地域活動に関するさまざまな情報を収集・把握するとともに、広く区民や地域活動団体にPRする。
- 人材、モノ、資金、地域情報等の地域資源が活用され循環する地域社会の活性化を図り、地域の自主財源確保に向けた支援を行う。

目標

「地域活動協議会の取組み等地域活動への理解が進んだ」と回答した区民の割合70%以上 ⇒ 49.7%

実績・評価

・中間支援組織と連携し、地域団体に会計の透明性の確保に向けた助言を行い、交付した公金の用途を区HPで公表

→ 全地域に補助金交付に係る事業計画・会計報告等を広報紙やHPで公表するよう推し進めてきたが、公表していない地域があったため、引き続き助言していく。

・新たな担い手確保に向けた支援として、中間支援組織と連携し、「ツルラボ」「鶴探～大人の社会見学」「つるばた会議」を実施

→ 「ツルラボ」:「防災」をテーマに実施したことで、身近な人同士がつながって支えることの大切さを感じてもらえ、地域での取組みが進むきっかけになった。

・「鶴探」:地域の企業・事業所へ社会見学をしたことにより、地域に興味を持ってもらえ、参加者の交流促進にも繋がり、新たな担い手づくりの一助になった。

・「つるばた会議」:誰でも参加できるまちづくりに関する井戸端会議として実施したことで、参加者の交流促進に繋がった。

実績・評価

・地域活動協議会の認知度向上

- 地域と連携して「TSURUMIC AWARD」(各地域活動協議会広報紙のデザインコンテスト)を区役所1階で開催し、来庁者をはじめ多くの住民に特色ある地域活動を紹介することができた。幅広い世代へ地域の魅力などの発信を図ってきたが、依然として地域活動協議会の認知度が低い。



ツルラボ3

8月31日(木)開催 参加者36人



鶴探7

12月16日(土)開催 参加者45人



つるばた会議11

3月11日(日)開催 参加者61人



第1回TSURUMIC AWARD～広報紙デザイン賞～

3月12日(月)～3月25日(日)開催 投票数301票

30年度の 取組み

- ・【継続】 区広報紙やHPの活用による地域の魅力発信。
- ・【継続】 広報活動への助言
- ・【継続】 「TSURUMIC AWARD」による地域と連携した取組みを行い、幅広い世代への効果的な情報発信。
※「TSURUMIC AWARD」は、地域活動協議会の広報力及び認知度向上を目的に実施
- ・【継続】 新たな担い手の確保に向けた支援。
- ・【継続】 会計の透明性の確保。

31年度の 方向性

【経営課題全体としての評価総括(自己評価)】

- 各地域に広報活動への助言を図るとともに、地域活動協議会の広報力及び認知度向上を目的にTSURUMIC AWARDを実施し、地域自らの広報紙作成業務を見直す契機となった。
- 地域活動協議会の認知度については49.7%と依然として低いが、70%の目標に届くように、引き続き地域住民が地域活動に参加しやすい環境づくりや地域活動への関心を高めるための積極的な情報発信、担い手確保につながる取組みを行っていく。